

TTAK

11月15日号
地域連携室発行

退院後も

つながります

あなたの

ことごとからだ

いよいよ冬の足音がすぐそこまで近づいてきました。皆さんはどんな冬の過ごし方をするのでしょうか？
ウィンタースポーツ、温泉、春まで冬籠りをされる方もいるかもしれません！
長い冬ですし、自分のスキルアップに励むのもいかがですか？TTAKはそんなあなたを応援します。

特集！有資格者に聞く！

内視鏡室 小林利美子さん 第二種消化器内視鏡技師

今回は、第二種消化器内視鏡技師についてお聞きしたいと思います。

Q：小林さん、こんにちは。まず、消化器内視鏡技師とは主にどのようなことをされるお仕事ですか？

A：内視鏡技師としての主な役割と主な業務は、検査前の器械、処置具の準備、内視鏡器械の点検、整備、保守、更に観察、治療の介助（観察体位、色素撒布、生検、ポリペクトミーなど）、検査後の器具の洗浄、消毒と、関連資料の整理、管理ならびに保守などです。

Q：なぜこの資格を取ろうと思われましたか？

A：以前から内視鏡に興味があり、専門的な知識を身につけたいと思い、1996年の3月に修得しました。
それに某先生（F澤先生）に勧められたのも理由の1つかな…。

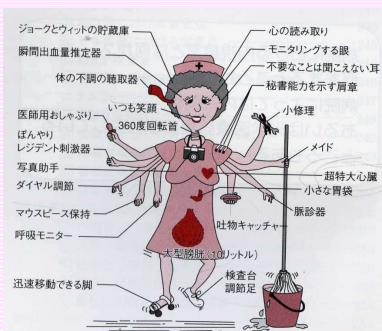
Q：あの内視鏡の鬼と恐れられていた某先生（F澤先生）ですか？

A：はい、そうです。



Q：では、どこが認定している資格で、毎年何人の方が受験されているのでしょうか？

A：日本消化器内視鏡学会が認定している資格です。私が取得したのは、10年前でその頃はあまり知られていなかったのですが、年間600人くらいの方が受験されていました。
今では、年間1000人くらいの方が受験されています。



Q：受験するにあたって、準備したことはありますか？

A：資格を取得する条件として、2年以上は内視鏡部門に勤務したという条件が必要でした。当時、内視鏡室には常勤ナースがおらず、外来師長、内科の先生方に相談し、内視鏡室への勤務移動をかなえてもらいました。あとは研究会や機器取り扱い講習など3回以上の出席が必要でしたので、神戸・大阪まで勉強しに行きました。

Q：勉強にかかった費用はいくらですか？また当てた期間はどのくらいですか？

A：費用は研究会や講習会への参加費は1回2000円～3000円を3回、本代（試験問題集や内視鏡技師の本など）に2万円くらい必要だったかな。試験場が東京で行われたので1泊2日で行ってきました。その時5～6万円必要でした。勉強に当てた期間は8ヶ月くらいかな。

Q：資格の更新に必要な手続きはありますか？

A：5年に1度更新しなければいけません。前回更新後に出席・受講した技師研究会2回、機器取り扱い講習会または機器セミナー1回の参加証明が必要です。更新者は該当期間内（6ヶ月）に申請手続きを行わないと資格が喪失します。喪失すると再受験が必要となります。

Q：受験勉強をされる上で苦労したこととかはありますか？

A：あの頃は、まだ子供が小さく、子育て真っ最中だったので、家事を済ませ、みんな寝静まってから毎日1時間程度勉強していました。（今までこんなに勉強したことありませんでした・・・。）

Q：最後に今後の抱負を教えてください。

A：日々新たな技術が開発される内視鏡医療の分野は、さまざまな工夫や改善が必要な職場であり、創意工夫、自己研鑽、研究活動が即、現場で役立つやりのある職場です。先生が新しい治療や手技を始めると、その資料を集め、マニュアル作り！そして新しい器械が入ると取り扱い説明書片手に四苦八苦！高額な機器のため、取り扱いやメンテナンス、準備、オリエンテーション等の基本を十分にマスターする必要があります。私自身もまだまだ勉強不足なので、これからも研究会やセミナーに参加し周りを振り回すぐらいの勢いで頑張り、そして第2、第3の内視鏡技師の育成にも力を入れていきたいと思います。そしてもう一つ。これは理想かも知れないですが、それに対応できる設備であったり、患者様のサービスを重視した環境も必要だと思います。



いかがでしたか？

内視鏡に対する熱意が伝わってくるインタビューでしたね。

1つの資格を取得するのに、自分の努力はもちろん必要ですが、家族や職場の方たちのバックアップも大切なんだな、と改めて感じさせられました。

さて、来月は…、

**手術室の磯川美香看護師の特定化学物質等作業主任者
お楽しみに！**

T・TAK 新聞のバックナンバーは、播磨病院ホームページ
<http://www.harima-hp.jp/main.htm> からご覧いただけます。

BY : S. M